

2021年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2021年11月12日

1. 2021年12月期第3四半期 業績の概要
2. 2021年12月期 業績予想

1. 2021年12月期第3四半期 業績の概要

第3四半期決算のポイント

<第3四半期業績>

前年同期比増収増益

(業績内訳)

- 国内 : 消費増税反動減からの回復
経営継続補助金などに伴う需要喚起と5月以降の反動
米価下落による購買意欲減退
- 海外 : 北米、欧州はライフスタイルの変化に伴い需要拡大も、
海上輸送用コンテナ不足による未出荷など受注残増大
アジアは前期末タイの販売代理店を連結子会社化した影響や
中国向け生産用部品販売増加
- 収益 : 増収による売上総利益の増加
一方で原材料価格高騰の本格化による収益圧迫

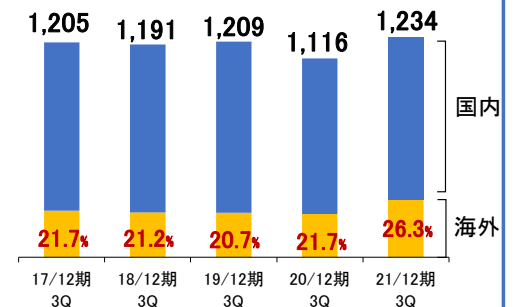
<通期業績予想>

売上・利益とも上方修正、復配(30円)

- ・国内外で想定していたリスクが顕在化するも、前回業績予想(2月)から上方修正
- ・30円の復配を予定

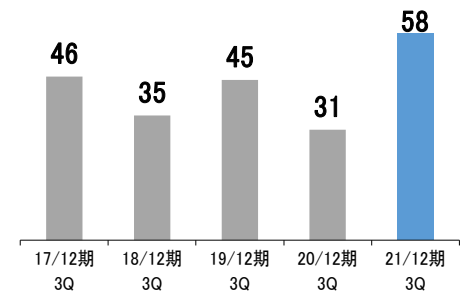
売上高推移(第3四半期累計)

(単位:億円)



営業利益推移(第3四半期累計)

(単位:億円)



		前年同期 (20/12期 第3四半期)	当期 (21/12期 第3四半期)
国内		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減 ✓ 新型コロナウイルス感染による営業活動自粛 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 消費増税反動減からの回復 ✓ コロナによる営業活動自粛が前年同期比では緩和 ✓ 経営継続補助金などに伴う需要喚起と5月以降の反動 ✓ 米価下落による購買意欲減退
	北米	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 巣ごもり特需により需要は堅調 ✓ 部品入荷遅れによるトラクタの減少(当社一過性要因) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフスタイルの変化による需要拡大 ✓ 海上輸送用コンテナ不足による未出荷などの受注残増大
海外	欧州	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ロックダウンにより現地小売店舗が一時閉鎖⇒当社出荷調整 ✓ 5月以降段階的に店舗営業再開し一部回復 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ライフスタイルの変化により新たに掘り起こされたコンシューマー向け需要は堅調 ✓ 現地小売店はエッセンシャル・リテールとして営業を継続 ✓ ワクチン接種が進み営業活動は徐々に平常化
	アジア	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧確保政策や移動制限により農機需要喚起 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・干ばつにより農家の家計状況、農機需要に影響はあるも、9月以降雨量は総じて回復傾向 ✓ 韓国 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機需要継続 ✓ 台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機購入補助金施行による需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・食糧確保政策継続や穀物価格の安定等により市場好調継続 ✓ アセアン(タイ) <ul style="list-style-type: none"> ・農作物生産量と作物価格が昨年より回復し、農機需要も回復基調 ✓ 韓国 <ul style="list-style-type: none"> ・大型農機需要継続 ✓ 台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金反動減

連結業績の概要

ISEKI

(2021年1月1日～2021年9月30日)

(単位:億円、%)

	19/12期		20/12期		21/12期		前年同期比
	3Q実績	比率	3Q実績	比率	3Q実績	比率	
売上高	1,209	100.0	1,116	100.0	1,234	100.0	+ 118
(国内)	959	79.3	874	78.3	909	73.7	+ 35
(海外)	249	20.7	241	21.7	324	26.3	+ 82
営業利益	45	3.7	31	2.8	58	4.7	+ 26
経常利益	32	2.7	28	2.5	65	5.3	+ 36
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	1.8	24	2.2	47	3.9	+ 23
為替平均 レート (円)	米ドル	109.6	107.7	107.7	107.7	+0.0	
	ユーロ	123.2	120.6	129.6	+9.0		

国内売上高



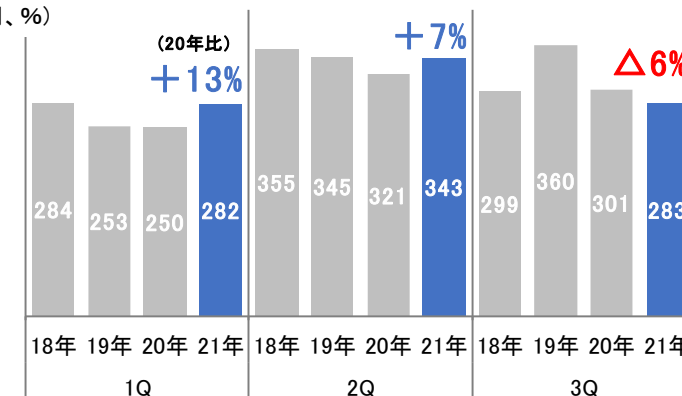
前年同期比
+35億円

農機製品・作業機は消費増税反動減からの回復や経営継続補助金などに伴う需要喚起もあり国内売上全体では増収

(単位:億円)		18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	前年 同期比
農機 製品 関連	整地機	210	213	173	188	+ 14
	栽培機	74	80	64	72	+ 8
	収穫調製機	137	141	119	117	△ 2
	小計	422	434	357	378	+ 20
	作業機	160	171	152	179	+ 26
	部品	113	118	119	118	△ 0
	修理収入	41	43	44	45	+ 1
	小計	315	333	316	343	+ 26
	計	737	767	674	721	+ 47
	施設工事	49	40	56	36	△ 19
その他農業関連	151	152	143	151	+ 7	
合計	939	959	874	909	+ 35	

四半期別売上推移

(単位:億円、%)



- ✓ 上期は前年同期比大幅増収
 - ・消費増税反動減からの回復
 - ・経営継続補助金などに伴う需要喚起
- ✓ 第3四半期は前年同期を下回る
 - ・経営継続補助金反動減
 - ・米価下落に伴う購買意欲減退

海外売上高

前年同期比
+82億円

北米・欧州はライフスタイルの変化に伴う需要拡大により販売増加
アジアはタイ販売代理店連結子会社化(前期末)や中国向け増加等により増収

(単位:億円)	18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	前年 同期比
北米	86	101	92	113	+ 21
欧州	108	99	92	133	+ 40
アジア	55	44	54	73	+ 19
その他	2	3	2	3	+ 0
連結売上高合計	252	249	241	324	+ 82

四半期別売上推移

(単位:億円、%)

四半期	18年	19年	20年	21年
1Q	84	79	68	122 (+77%)
2Q	98	96	81	118 (+46%)
3Q	69	74	92	84 (△8%)

- ✓ 上期は前年同期比大幅増収
 - ・北米、欧州ライフスタイル変化に伴う需要拡大
- ✓ 第3四半期は前年同期を下回る
 - ・受注は引き続き好調
 - ・コンテナ不足で出荷進まず

営業利益

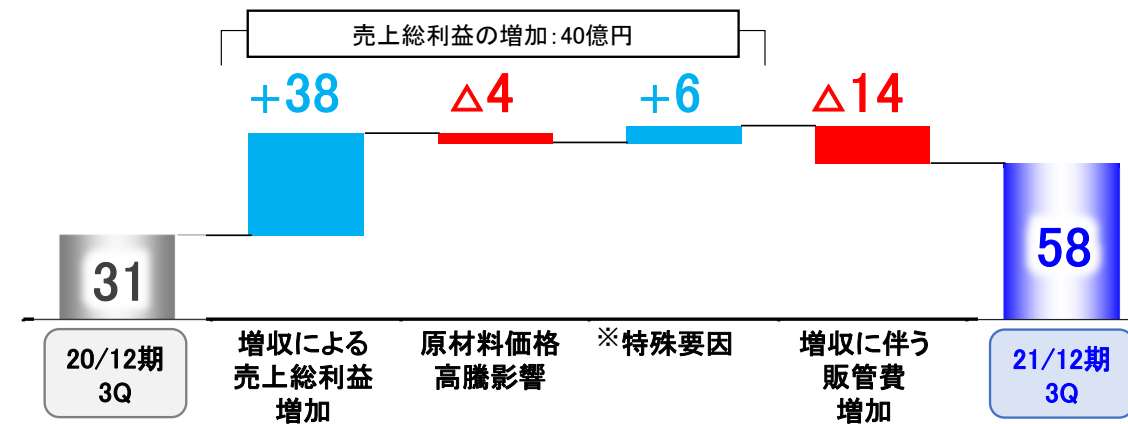
前年同期比
+26億円

増収による売上総利益の増加に加え、前期に計上があった部品在庫評価損の剥落など特殊要因もあり増益、一方、原材料価格高騰の本格化が収益を圧迫

(単位: 億円、%)

	18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	前年 同期比
売上高	1,191	1,209	1,116	1,234	+ 118
売上総利益	353	358	331	372	+ 40
率	29.7%	29.6%	29.7%	30.1%	+ 0.4%
販管費	317	312	299	313	+ 14
人件費	187	183	179	185	+ 5
その他経費	130	129	119	128	+ 9
営業利益	35	45	31	58	+ 26

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



※特殊要因

- ・前期に計上があった部品在庫評価損の剥落 +2
- ・前期減損損失計上に伴う減価償却費の減少 +4

【為替影響(億円)】

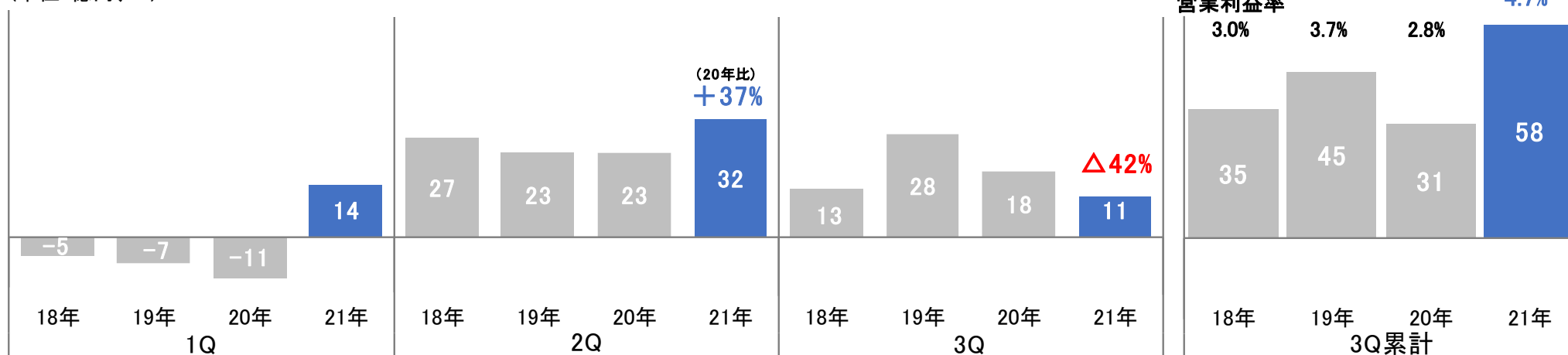
売上	原価	販管費	営業利益
+8	$\Delta 5$	$\Delta 1$	+2

営業利益 四半期別推移



営業利益 四半期別推移

(単位: 億円、%)



✓ 上期は前年同期比大幅増益

- ・国内外好調

✓ 第3四半期は前年同期を下回る

- ・国内外の前年同期割れ
- ・原材料価格の高騰本格化

✓ 3Q累計

- ・需要喚起策等あり、四半期別では年度ごとの特殊要因はあるものの、収益力は上昇傾向

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
+36億円

為替差損益の好転や持分法投資損失の縮小に加え、
一過性の営業外収益計上もあり増益

(単位:億円)

	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	前年同期比
営業利益	45	31	58	+ 26
金融収支	△5	△5	△4	+ 0
その他営業外損益	△6	1	11	+ 9
経常利益	32	28	65	+ 36
特別利益	1	6	0	△ 6
特別損失	△2	△0	△2	△ 1
税 前 利 益	31	34	63	+ 29
税、税調整額	△10	△10	△15	△ 5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	24	47	+ 23

営業外損益増減内訳(前年同期比)

為替差損益	+3億円
持分法投資損失	+1億円
受取和解金	+4億円

・ご参考)持分法関連

(単位:億円)

	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	増 減
持分法投資損益 (営業外)	△2.5	△1.2	+1.3
持分変動損益 (特別)	6.5	—	△6.5

※持分法適用会社 前期：東風井関、IST 2社
当期：東風井関 1社

バランスシート

前年同期末比

当期の増収・棚卸資産減少により収支改善 ⇒ 現預金の増
 固定資産減少 ⇔ 有利子負債・資本の減

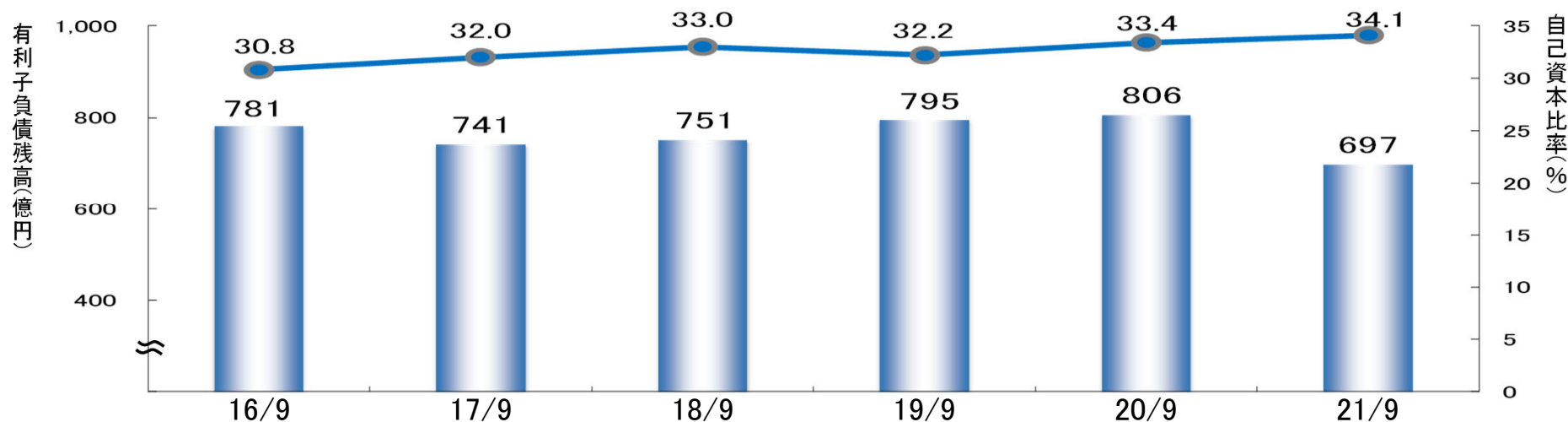
(単位:億円)

	20/9月末	21/9月末	増減		20/9月末	21/9月末	増減
現預金	75	125	+49	仕入債務	358	371	+13
売上債権	332	313	△18	有利子負債	806	697	△109
棚卸資産	534	482	△51	(借入金)	(727)	(622)	(△104)
(商品及び製品)	(456)	(399)	(△57)	その他負債	191	188	△3
その他流動資産	42	42	+0	(再評価に係る繰延税金負債)	(57)	(40)	(△16)
流動資産計	984	964	△20	負債計	1,356	1,256	△99
有形固定資産	966	850	△116	純資産	705	677	△27
無形固定資産	15	22	+7	(利益剰余金)	(187)	(192)	(+5)
投資その他資産	95	96	+1	(土地再評価差額金)	(126)	(88)	(△37)
固定資産計	1,077	970	△106	負債・純資産計	2,061	1,934	△127
資産合計	2,061	1,934	△127				

自己資本比率・有利子負債

有利子負債
D/Eレシオ

借入金の減少により有利子負債減少
D/Eレシオは1.03倍と改善



借入金・社債	696	670	688	723	727	622
リース債務	84	70	63	71	79	74
有利子負債 計	781	741	751	795	806	697
D/Eレシオ	1.19倍	1.05倍	1.05倍	1.14倍	1.14倍	1.03倍

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

2. 2021年12月期 業績予想

連結業績予想の前提

<事業環境想定>

- ✓ 新型コロナウイルス感染は収束に向かいつつあるものの経済活動の混乱は残る、更に第6波を警戒
- ✓ 経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動減や米価下落による購買意欲減退
- ✓ 原材料価格の高騰本格化

	織り込みリスク
国内	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動 ✓ 米価下落による購買意欲減退 ✓ 部品納入遅延に伴う生産遅れ
海外	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コンテナ不足による未出荷など受注残増大
コスト面	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原材料価格の高騰本格化

2021年12月期 連結業績予想

連結業績予想

売上高・利益ともに上方修正
30円の復配

※1 前回予想:2021年2月15日公表予想

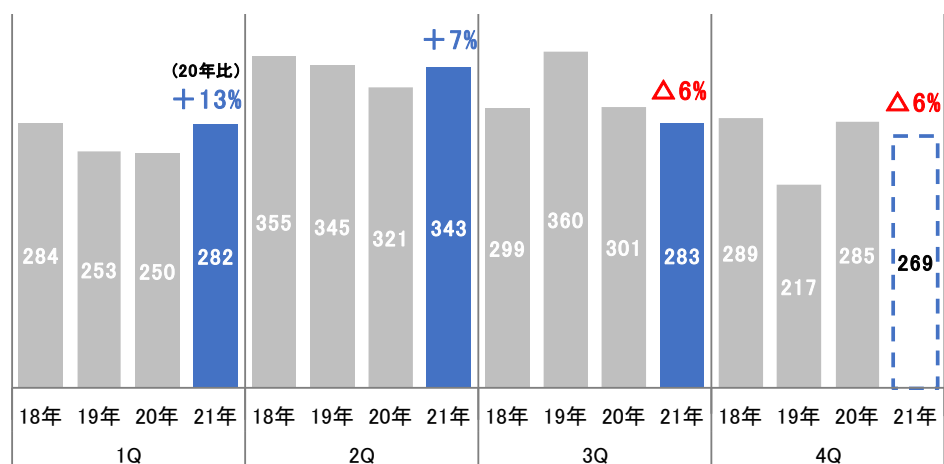
※2 今回予想:2021年11月12日公表予想

(単位:億円)		18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 ※1 前回予想	21/12期 ※2 今回予想	前期比	前回 予想比
売上高		1,559	1,498	1,493	1,535	1,590	+ 96	+ 55
	(国内)	1,228	1,177	1,159	1,179	1,179	+ 19	± 0
	(海外)	331	321	333	356	411	+ 77	+ 55
営業利益		31	27	20	36	40	+ 19	+ 4
	率	2.0%	1.8%	1.4%	2.3%	2.5%	+ 1.1%	+ 0.2%
経常利益		26	11	17	35	47	+ 29	+ 12
親会社株主に帰属する 当期純利益		10	7	△56	24	34	+ 90	+ 10
為替平均レート (円)	米ドル	110.2	109.3	107.0	105.0	108.0	+1.0	+3.0
	ユーロ	130.9	121.6	121.5	123.0	130.0	+8.5	+7.0
期末配当(円)		30	30	0	未定	30	+30	—

四半期別業績見通し

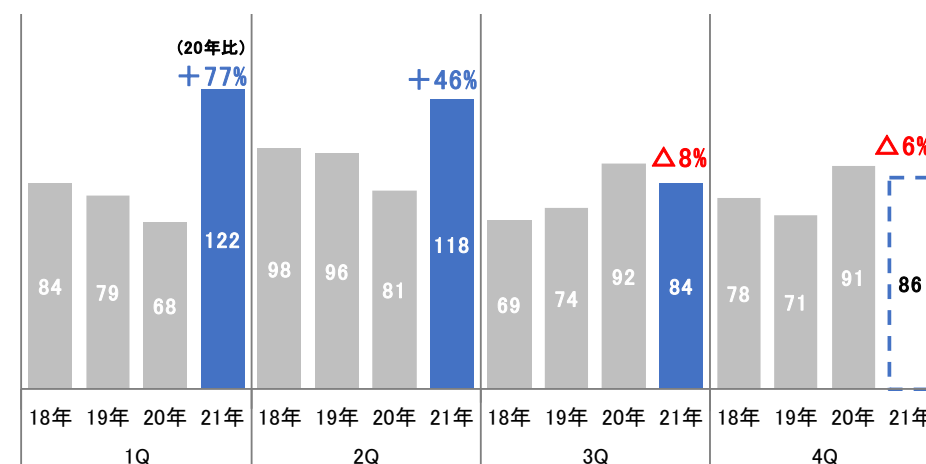
国内売上高

(単位: 億円、%)



海外売上高

(単位: 億円、%)

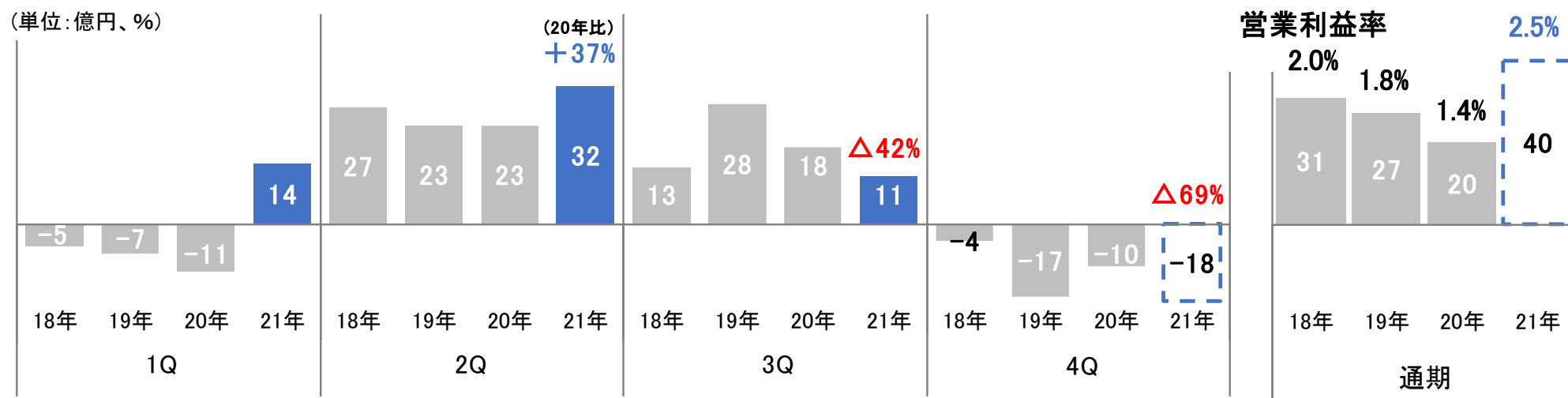


✓ 第4四半期は国内外ともに前年同期を下回る見通し

- ・経営継続補助金反動減
- ・米価下落に伴う購買意欲減退
- ・コンテナ不足に伴う出荷停滞

四半期別業績見通し

営業利益 四半期別推移



- ✓ 第4四半期は前年同期を下回る
- ✓ 通期では中計初年度の計画は達成の見通し

将来の見通しに関する記述についての注意

ISEKI

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。